

報道関係各位

2009年5月14日

博報堂DYメディアパートナーズ

## 第4回「アスリートイメージ評価調査」を実施 ～イチロー、全イメージ項目中13項目で1位に！！～

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区 社長:佐藤孝 以下博報堂DYメディアパートナーズ)は、株式会社博報堂DYスポーツマーケティング(本社:東京都港区 社長:萩原徳正 以下博報堂DYスポーツマーケティング)と共同で、4回目となるアスリートの総合的なイメージを測定する「アスリートイメージ評価調査」を行いました。

通常調査項目のイメージ総合ランキング上位には、1位にイチロー(野球)、2位に浅田真央(フィギュアスケート)、3位に石川遼(ゴルフ)となっており、常にチャレンジ精神を持ちながら選手生活を続け、夢と感動を与え続けているアスリートが上位を占めています(敬称略、以下同)。また、「情熱的な」「存在感がある」「人を惹きつける魅力がある」「精神的な強さを感じる」など、29のイメージ項目中13項目でイチローが1位という結果となりました。

イメージ項目の「存在感がある」アスリートは、1位にイチロー(野球)、2位に朝青龍(大相撲)、3位に松井秀喜(野球)、松坂大輔(野球)。また、「2009年期待のアスリート」は、1位に石川遼(ゴルフ)、2位に浅田真央(フィギュアスケート)、3位にイチロー(野球)となっており、昨年11月に実施した調査結果と同じアスリートがランキングされています。10代アスリートの活躍はやはり期待されている結果となりました。

昨年から行っている今調査を分析した結果、常に活躍を続け、人々に夢と感動を与えているアスリートが上位にランキングされる傾向にあると言えます。

そして、今回は通常調査項目に加え、「企業とスポーツ」というテーマでの質問も行いました。経済危機の影響で企業スポーツの撤退が相次いでいる中、企業のスポーツ参加への意義に関しては、「スポーツを普及、発展させる」59.2%、「スポーツを楽しむ・感動を社会(地域)に広げていく」47.7%、「企業・ブランドの広告やPRを行う」41.7%という結果となりました。

この調査は2008年より、CMキャスティングの際に使用する基礎データとしての活用を主な目的とし、対象アスリートの認知、好意度のほか、博報堂DYメディアパートナーズが独自に構築した29項目のイメージ評価によるオリジナル調査です。

博報堂DYメディアパートナーズでは、今後も定期的に「アスリートイメージ評価調査」を実施し、アスリートのイメージ評価がどのように変化していくのか分析を行ってまいります。

## ■主な調査結果

### 1)イメージ総合ランキング上位には、「イチロー」「浅田真央」「石川遼」

- 1位: イチロー(野球)
- 2位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 3位: 石川 遼(ゴルフ)
- 4位: 松坂 大輔(野球)
- 5位: 松井 秀喜(野球)
- 6位: 朝原 宣治(陸上)
- 7位: ダルビッシュ 有(野球)
- 8位: 上村 愛子(モーグル)
- 9位: 宮本 恒靖(サッカー)
- 10位: キム ヨナ(フィギュアスケート)

### 2)“存在感がある”アスリートには、「イチロー」「朝青龍」「松井秀喜」「松坂大輔」

- 1位: イチロー(野球)
- 2位: 朝青龍(大相撲)
- 3位: 松井 秀喜(野球)
- 3位: 松坂 大輔(野球)
- 5位: ダルビッシュ 有(野球)

### 3)“知性的な”アスリートには、「イチロー」「宮本恒靖」「朝原宣治」

- 1位: イチロー(野球)
- 2位: 宮本 恒靖(サッカー)
- 3位: 朝原 宣治(陸上)
- 4位: 斎藤 佑樹(野球)
- 5位: 城島 健司(野球)

### 4)“パワフルな”アスリートには、「朝青龍」「アレックス・ラミレス」「浜口京子」

- 1位: 朝青龍(大相撲)
- 2位: アレックス・ラミレス(野球)
- 3位: 浜口 京子(レスリング)
- 4位: 松井 秀喜(野球)
- 5位: 山本山(大相撲)

### 5)“勢いを感じる”アスリートには、「石川遼」「浅田真央」「ダルビッシュ 有」

- 1位: 石川 遼(ゴルフ)
- 2位: 浅田 真央(フィギュアスケート)

- 3位: ダルビッシュ 有(野球)
- 4位: 松坂 大輔(野球)
- 5位: 三浦 皇成(競馬)
- 5位: 大迫 勇也(サッカー)

6) “2009年期待のアスリート”には、「石川遼」「浅田真央」「イチロー」

- 1位: 石川 遼(ゴルフ)
- 2位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 3位: イチロー(野球)
- 4位: 錦織 圭(テニス)
- 5位: 上村 愛子(モーグル)

■調査概要

- ・調査方法: Web 調査
- ・調査地区: 首都圏+京阪神圏  
(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)
- ・調査対象者: 対象エリアに在住の15~69歳の男女
- ・有効回収サンプル数: 600サンプル
- ・調査期間: 2009年3月19日~3月22日  
※調査毎に対象アスリートは異なります。

■この件に関するお問い合わせ先

博報堂DYメディアパートナーズ	広報グループ	舟橋・加藤	03-6441-9347
	スポーツ事業局	松波	03-6441-9616
	メディア・コンテンツソリューション局	大足	03-6441-9772